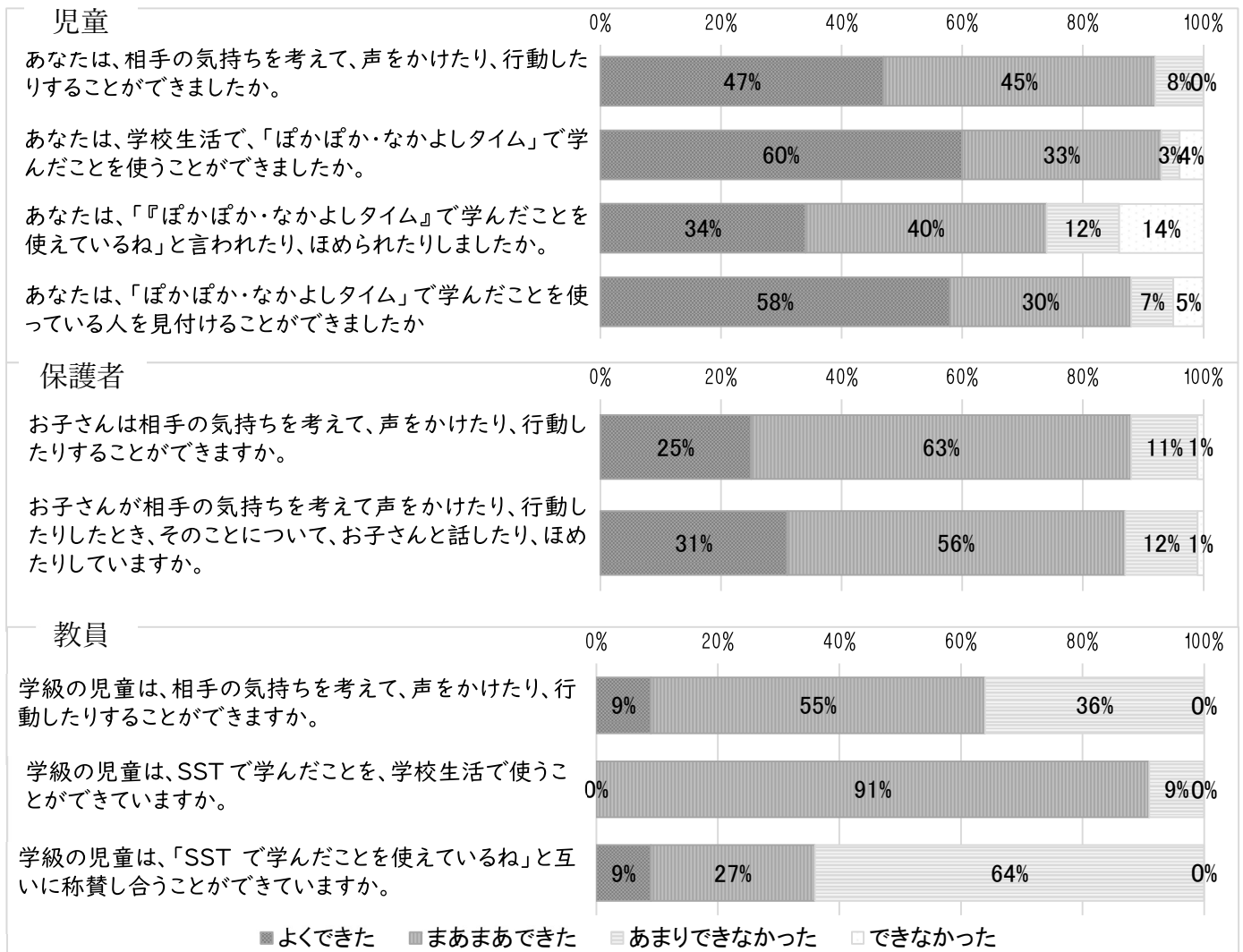


アクションプラン1

重点項目 思いやりのある子供の育成

重点課題 相手の立場や思いを考えた言動ができる児童を育てる。

＜達成目標＞ 相手の気持ちを考えて声をかけたり、行動したりすることができたと自己評価する児童が 85%以上



・「相手の気持ちを考えて、声をかけたり、行動したりすることができているか」という項目で「よくあてはまる」、「だいたいあてはまる」と回答した割合は児童が 92%、保護者が 88%、教員が 64%であり、児童と保護者の結果と教員の結果には差があった。「『ぽかぽかなかよしタイム』（以下 SST）で学んだことを使うことができている」と答えた児童は 93%、教員が 91%であり、児童は SST で学んだことを理解していると言える。他者から「SST で学んだことを使えていると言われたり、ほめられたりしたか」の項目では、児童は 74%であった。一方で、「相手の気持ちを考えて声をかけたり、行動したりしたとき、そのことについて、お子さん（児童）と話したりほめたりしていますか。」の項目では、保護者は 87%、教員は 82%であった。

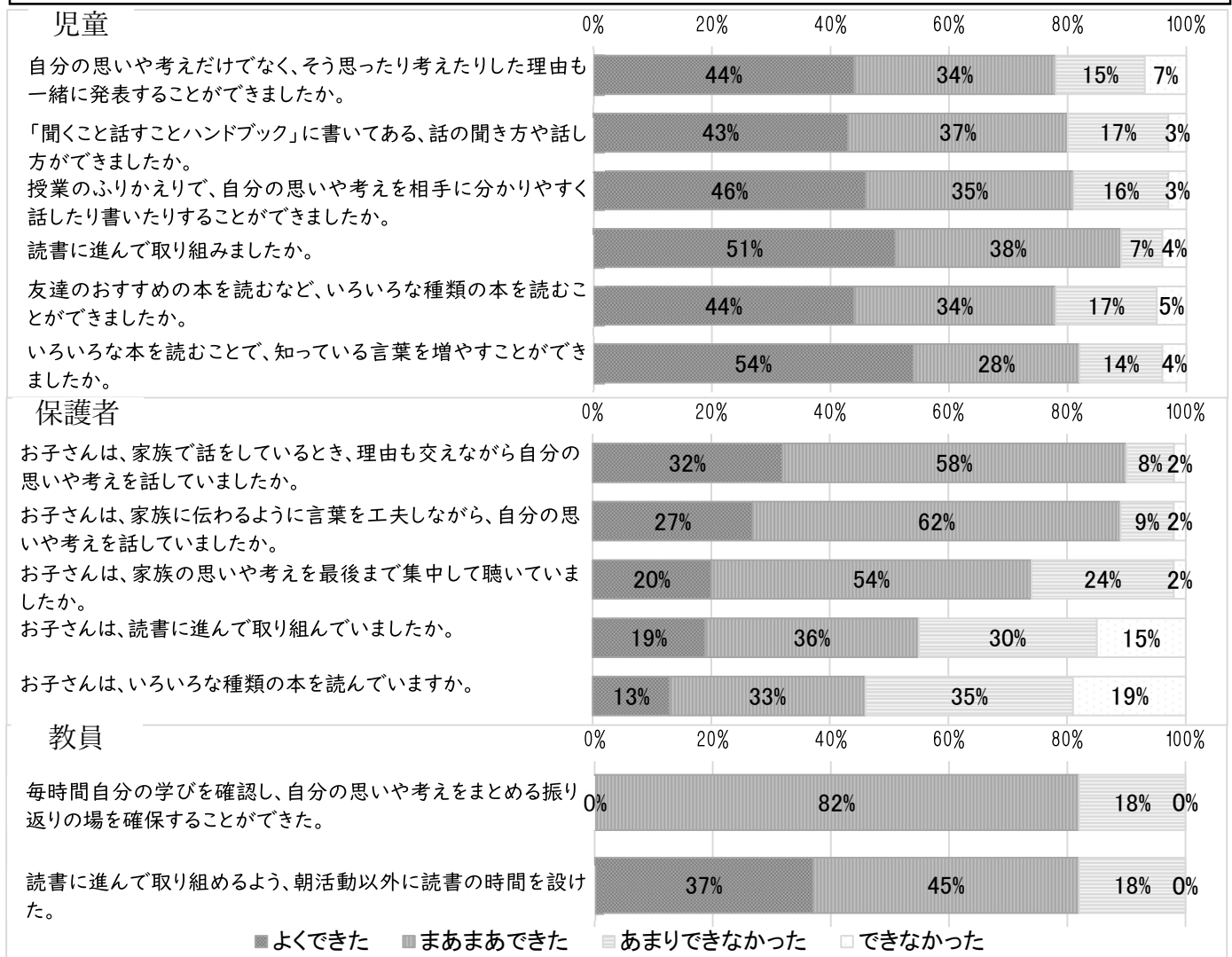
○全学級一斉の SST では、実際に学んだスキルの心地よさを体験したことで実感を伴う理解につながり、スキルを使おうとする意欲につながった。学級での振り返りでは、よい言動ができている児童を知ること、意欲の高まりがみられた。一方で、学級での振り返りでは、他学年との交流が行われず、自己評価を高める機会にできなかった。そこで、振り返りでは、児童がよい姿を発表しやすいように、振り返りのポイントを示したり、思いやりのある言葉を普段から使えるよう、「ぽかぽか言葉リスト」を掲示したりする。また、他学年と交流する方法を工夫したり、児童同士が称賛し合う場を増やしたりしていく。

アクションプラン2

重点項目 基礎学力の確立

重点課題 「振り返り」と「読書活動」の充実

＜達成目標＞ 自分の思いや考えを理由や根拠をもって伝えることができる児童が80%以上



- ・アンケートでは、ほぼすべての項目で80%前後の肯定的な回答が得られ、概ね目標を達成した。一方、保護者アンケートでは読書習慣や読書の幅を広げるための取組が「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせても50～60%程度にとどまり、学校と家庭の実態に差がみられる。
- ・教員のアンケートでは、授業において振り返りの時間を確保するという点では、概ね成果がみられた。しかし、児童が、自分の思いや考えを整理したり、根拠を意識して表現したりすることは十分に定着しているとは言えず、指導の工夫が必要である。
- ・自分の読んだ本を紹介する活動を通して、読書への意欲は向上している。一方家庭での読書習慣が身に付かなかったり、読書する本に偏りがあったりすることが分かった。読書活動の質をさらに高める必要がある。
- 振り返りの視点「わ：分かった・面白かった・頑張った つ：次は・もっと・なぜ と：友達のいいね・すてき・なるほど」を合言葉化したポスターを常時掲示して意識付けを図る。さらに、振り返りで使える文例をまとめた文例集を児童に配付し、手元で活用できるようにし、思考の整理を支援する。
- 児童が幅広い分野の本に触れられるよう「読書ビンゴ」を実施し、多様な本に出会える機会をつくる。また、語彙の獲得につなげるために、玄関ホールに毎朝提示しているクイズを「言葉クイズ」として出題し、登校時に新しい言葉に触れられるようにする。これらの取組をホームページ等で家庭にも共有し、家庭での読書や語彙への関心を高めることで、読書習慣と語彙の定着を図る。
- 児童が、発表するときに「話すこと聞くことハンドブック」のどの項目を使うかを児童自身が選ぶようにし、板書にも関連する言葉を示すなど視覚的支援を強化する。振り返りでは、ハンドブックを活用し、「なぜなら」「わけは」等言葉を繰り返し使うよう促し、理由や根拠をもって考えを表現できるようにする。

裏面に記述アンケート結果掲載

★ アクションプラン1 ★ 話の聞き方や伝え方について

- ・いつも、相手の気持ちになって行動するように伝えています。(1年保護者)
- ・子供が話し始めたら、できるだけ向き合って聞くように心がけています。(2年保護者)
- ・子供がお手伝いをしたときに、親が積極的に「ありがとう」と伝えることで、子供も何かしてもらったときに「ありがとう」と言えるようにしています。(3年保護者)
- ・相手の目を見て話を聞いたり気持ちを伝えたりするよう、繰り返し伝えています。
(4年保護者)
- ・家族でも手伝ってくれたり、助けてくれたりしたときには感謝の言葉を言うようにしています。
(5年保護者)
- ・家族間でも、思いやりのある行動には「ありがとう」と伝えるように心がけています。
(6年保護者)



★ アクションプラン2 ★ 「話を聞く・話す」について

- 自分の気持ちを理由も添えて話せるようになったと思います。(2年保護者)
- 自分の気持ちを大切に話を聞いたり話したりできるようになったかと思っています。
(4年保護者)
- △興味のあることは集中して聞いていてよいですが、そうでないときに聞くことが難しいときがあり、課題だと思います。(1年保護者)
- △主語が抜けて伝わりづらい事があるため、伝えたい事を相手に聞いてもらう話し方を教えています。(3年保護者)
- △話している人の顔を見て話を聞けます。途中で集中がきれ、最後まで聞けないときがあります。(5年保護者)
- △自分の気持ちや考えをしっかりと伝える事ができます。課題は、相手の話を遮らずに最後まで聞く事。思いがあるなら最後まで聞いてから伝えてほしいと思います。(6年保護者)

★ アクションプラン2 ★ 「読書」について

- 家にある簡単な絵本を毎日弟に読んであげています。(1年保護者)
- 市立図書館で借りてきた本をよく読んでいます。(4年保護者)
- 気になる本があれば、借りてきたり購入したりして読んでいる様子がみられました。本に興味をもってくれるのはよいことだと思います。(6年保護者)
- △読むのが苦手なため、読み聞かせから初めてみようと思います。(2年保護者)
- △時間があればテレビや動画等を見てしまうため、読書の時間が少ないです。(3年保護者)
- △もっと本を読む時間を増やせたらと思います。(5年保護者)



★お忙しいところ、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

